

せん妄にはどのような症状があるのでしょうか？

せん妄の症状は突然発症し、患者の身体的および精神的な状態に変化をもたらします。せん妄の患者には、以下のような症状がみられる場合があります。

- 混乱し、物忘れがひどくなる
- 現在の時刻や居場所が分からなくなる
- 注意力が散漫になる
- 普段とは異なったふるまいをするようになる
- 身体の機能に変化が生じる（自分自身で移動したり健康管理を行ったりする能力の低下など）
- 非常に興奮するか、逆に無口で内気になる、または急に強い眠気におそわれる（これらの状態が交互に生じる場合もある）
- 睡眠習慣に変化が生じる（夜に眠れず、日中に眠くなるなど）
- 感情の起伏が激しくなる（小さなことに怯えたり、動揺したり、イラついたり、怒ったり、悲しくなったりする）
- 実際には存在しないものが明らかに見えると思い込む場合がある
- 膀胱または腸の制御が困難になる（失禁など）

せん妄の原因は何ですか？

多くの場合、せん妄は基礎疾患や感染症と関連して発症します。その他、高齢者のせん妄の一般的な原因には以下のようなものがあります。

- 排便・排尿に関わる問題（便秘、または膀胱を空にできないなど）
- 脱水症状または栄養失調
- 激しい痛み
- 薬の服用（市販の薬品を含む）
- 過度の飲酒
- 急な禁酒／禁煙、または医薬品（特に睡眠薬）の使用中止
- 急激な環境の変化（入院など）

患者によっては原因の特定が困難な場合もあります。

せん妄はどのように発症するのでしょうか？

せん妄は突然発症し、通常は数時間から数日間続きます。患者の言動は、一日の間にも不安定に変化する場合があります。

せん妄は、誤って認知症やうつ病と認識される場合があります。このため、患者の精神状態に突然の変化があった場合、ご家族や友人の方々は医療関係者にその旨知らせることが重要です。

せん妄はどのくらいの期間、持続するのでしょうか？

多くの場合、せん妄の症状は数日間のうちに治まりますが、場合によっては数週間から数か月間続くこともあります。

症状が迅速に回復しない場合は入院期間が長くなり、転倒や床ずれ、また最悪の場合は生命に関わる深刻な事態を招く恐れもあります。

せん妄が再発することはありますか？

せん妄を発症したことのある人には、高い再発のリスクがあります。

せん妄の治療はどのように行われるのでしょうか？

医療スタッフは、せん妄の根本的な原因究明および治療のために綿密な医学的評価を行います。身体的な疾患が発見された場合は、その疾患に対する適切な治療が行われます（例えば尿路感染症がある場合は、抗生物質の投与など）。

場合によっては、症状の緩和および合併症リスクの低減を目的とした治療が行われることもあります。

家族および介護者の役割

慣れ親しんだ人と共に過ごすことは、せん妄の患者に安心感をもたらします。家族および介護者の方々には、できるだけ患者と一緒にいてあげることが奨励されています。

家族および介護者の方々は、医療スタッフに対して貴重な情報を提供することができます。患者の精神状態または体調に突然の変化が生じた場合は、早急に医療スタッフに知らせることが重要です。

介護者のためのサポートをご利用いただけます。ご家族または介護者の方々がサポートをご必要とされている場合には看護スタッフまでお知らせください。

支援および介護の方法

- せん妄の患者には、明瞭にゆっくりと話してあげてください。会話の際は自分の名前を告げて、患者にも名前呼びかけするようにしましょう。
- 論争しないよう注意してください。
- 適切な食事と水分を摂取するよう促し、必要に応じて介助してあげましょう。
- 現在地と今日の日付、および現在の時刻を教えてください。状況が許すなら、日中は部屋のカーテンを開けておいてください。場所や時間を把握することは、錯乱状態の軽減に役立つ場合があります。
- 患者がふだん眼鏡をかけている場合、または補聴器を装着している場合はそうした補助器具を用いるよう促し、必要に応じてその着用を手伝い、問題がないことを確認してください。視覚または聴覚の障害は、錯乱状態の悪化をもたらす場合があります。
- 患者が興奮したり攻撃的になったりした場合は、無理に抑制しようと試みないでください。例えば患者が歩きたいと言い張るなら、周囲に危険な障害物がないことを確認したうえで歩かせてあげましょう。ただし、転倒や衝突には十分注意してください。
- 写真や部屋着、ラジオ、好きな音楽の入ったオーディオプレーヤーなど、家を連想できる品を持ってきてあげましょう。
- 患者の興奮状態の軽減および環境への適応に少しでも役立つ情報（例えば家族や友人の名前、趣味、本人にとって重要な出来事など）があれば医療スタッフにお知らせください。

せん妄とは何ですか？

せん妄は、精神機能の変化を主な特徴とする一般的な病態です。

せん妄およびその症状は、数時間から数日間という短期間に発症します。通常は数日間で治まりますが、より長期間続く場合もあります。

せん妄は高齢者の間に多くみられますが、どの年齢層でも発症し、またたいへん重い症状を伴う場合があります。

多くの場合、せん妄は予防することが可能です。せん妄の治療には、根本的な原因の究明および処置が必要となります。

どのような人にリスクがあるのでしょうか？

次のような人にはせん妄のリスクがあります。

- 重い病気にかかっている人、または体質・老齢などにより体が虚弱な人
- 認識機能障害（認知症、知的障害、脳損傷を含む）が現在ある人、または過去にあった人
- 過去にせん妄を経験したことがある人
- 66歳以上の人（アボリジニおよびトレス海峡諸島民の場合は46歳以上の人）
- 複数の薬を服用中の人、または最近になって薬を変更したことのある人
- 外科手術（心臓、腰、神経系の疾患など）を受けている人
- うつ病にかかっている人
- 視力の弱い人、または聴覚障害のある人

せん妄の発症率はどのくらいですか？

高齢の入院患者のおよそ5人に一人、および高齢者介護施設に入居している人々の約半数は、治療／介護期間中のある段階でせん妄を経験します。ただしせん妄は、どの年齢層でも発症する可能性があります。

せん妄に関して何らかの懸念またはご質問をお持ちの方は、かかりつけの医師または病院のスタッフにご相談ください。

連絡先

Carers Australia - NSW Carer Line

1800 242 636
www.carersaustralia.com.au

My Aged Care

1800 200 422
www.myagedcare.gov.au

National Dementia Helpline

1800 100 500

Dementia Australia

www.dementia.org.au

NSW Agency for Clinical Innovation

Care of Confused Hospitalised Older Persons Program
www.aci.health.nsw.gov.au/chops

Adapted with permission from Northern NSW Local Health District and Delirium Care Pathways, Department of Health and Aging, Canberra. 2010.

This brochure has been produced as part of the Care of Confused Hospitalised Older Persons Program and funded through the NHMRC Cognitive Decline Partnership Centre, 2018.

2HAC108 March 2020 0061 03/20



Delirium せん妄について

当パンフレットは、「せん妄」のリスクをお持ちの方々または過去に経験したことのあるの方々、そのご家族および介護者の方々を対象としています。



AGENCY FOR
CLINICAL
INNOVATION